

令和7年度 第2回徳島県地域職業能力開発促進協議会 議事概要

徳島県地域職業能力開発促進協議会

1 日 時 令和8年2月26日(木) 13:30~15:30

2 開催場所 徳島地方合同庁舎6階会議室

3 出席者及び所属

【構成員】

松村豊大(徳島文理大学)、脇田亮(徳島県経営者協会)、手塚俊明(徳島県中小企業団体中央会)、上田輝明(徳島県商工会議所連合会)、加藤弘道(徳島県商工会連合会)、中川孝文(日本労働組合総連合会徳島県連合会)、領田孝彦(株式会社スタッフクリエイト)、中村一也(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構徳島支部)、宮崎仁成(徳島県職業能力開発協会)、福原美奈(全国産業人能力開発団体連合会推薦株式会社ニチイ学館徳島支店)、田中俊夫(徳島大学)、小原広行(徳島県経済産業部)、亀井崇(徳島労働局)

【事務局】

森広茂(徳島労働局職業安定部長)、佐藤雅彦(訓練課長)、山下修一(課長補佐)、阿部和史(地方人材育成対策担当官) 郡菜穂美(職業相談員)、藤崎裕加里(職業相談員)、小山実千代(徳島県経済産業部産業人材課長)、藤本大輝(主任)、久家尚也(主任)

4 議事概要

(1) 令和7年度徳島県地域職業訓練実施状況について

・事務局(徳島県)より、委託訓練及び県施設内訓練の実施状況について説明。

- ・中村構成員より、ポリテクセンター徳島の施設内訓練の実施状況について説明。
- ・事務局（徳島労働局）より、求職者支援訓練の実施状況について説明。

（松村会長）

キャリアブリッジミーティングは、いろんな分野で参考となる取組であると思います。

（２）障害者委託訓練におけるPDCA評価に関する報告について

- ・事務局（徳島県）より、障害者委託訓練におけるPDCA評価の実施について説明。

（松村会長）

障害者訓練は、一般訓練と同じ評価軸で判断するのは不適切であると思います。

障害特性に応じてできること、できないことが大きく異なるため、行政的な評価で判断するのは、違和感があります。

評価に左右されず、障害者の能力を伸ばす支援を継続すべきであると思います。

（３）令和８年度徳島県地域職業訓練実施計画（案）について

- ・事務局（徳島県）より、委託訓練の実施計画（案）について説明。
- ・中村構成員より、ポリテクセンター徳島の施設内訓練の実施計画（案）について説明。
- ・事務局（徳島労働局）より、求職者支援訓練の実施計画（案）について説明。
- ・令和８年度徳島県地域職業訓練実施計画（案）について、協議会構成員の了承を得た。

(構成員及び事務局からの発言)

(脇田構成員)

必要な人材の確保が難しいので、企業は、人材育成、DX、価格転嫁を推進していかないとまわっていかないと。人材育成は、極めて重要です。徳島県の産業をどうしていきたいかを踏まえて、職業訓練の定員を設定し、またDXの推進をして欲しいと思います。

(手塚構成員)

令和8年度徳島県地域職業訓練実施計画(案)が1番重要であると思いますので、今年度の実施状況等を含めもう少しわかりやすい資料の提供をお願いします。経済界のニーズを汲み取って、経済界に届く人材育成に努めていただけたらと思います。

(上田構成員)

介護、医療、建設、運輸の分野は、非常に厳しい状況です。職業訓練の応募倍率、充足率が非常に厳しい状況なのはなぜなのか、教えていただけたらと思います。

事務局(徳島労働局)

令和8年度の実施計画と令和7年度の実施状況を対比して把握できる資料および説明につきましては、検討いたします。また、人手不足が続く中で、早期に就職できる方はどんどん就職していきます。訓練を受講しなくても就職しやすい状況にあるため、職業訓練の受講者数は減少していると思われます。

(松村会長)

公共職業訓練と企業内のOJTとの連携が大事となります。どんどん求められるスキルが高くなっており、職業訓練だけではニーズに応えきれないので、公共職業訓練と企業内のOJTとの連携を密にしていく必要がある。

(加藤構成員)

令和7年度の職業訓練実施状況のところ、専門的な知識を学ぶコースより、基本的な知識を学ぶコースの人気の高いと説明があったがなぜでしょうか？

事務局（徳島労働局）

詳しくは把握できておりませんが、基礎コースは、就職に必要な基礎的な技能等を学ぶ訓練となっており、今年度は就職がなかなか決まらない未経験の方など幅広い層の人に受け入れられた結果だと思えます。

(松村会長)

企業が求めるレベルまで公共職業訓練でまかなうのは、非常に厳しい状況にあると思います。一定期間、OJTをして必要なスキルを身に付けるのが一般的であると思います。

(福原構成員)

医療事務に限らず医療従事者の人手不足状況は深刻です。訓練についても訓練受講者が減少していく中で、訓練の中身の見直しをしていく必要性を感じているが、訓練を見直すにも人材が必要であるので、難しい状況です。

(領田構成員)

コミュニケーション能力が不足している人が一定数おり、面接等で活用できるので、コミュニケーション能力、スキルを上げる講座を1～2時間設けて欲しい。

(宮崎構成員)

外国人技能実習生は、コロナの関係でだいぶ減っていたが、現在は、回復しており、以前多かった縫製業から建築業関連の業種の増加傾向が見られます。

(田中構成員)

徳島ビジネスリスキリングスクールの受講者は、順調に増えており、リスキリングのニーズが高まっていることを実感しています。特に、A I 関係のエンジニア養成等 A I 関係のニーズが大変高い状況です。

(4) 訓練効果の把握・検証等 (訓練分野の選定) について

- ・事務局 (徳島労働局) より、実施内容等について説明。
- ・検証対象分野として、「医療・保育・介護分野」を選定することについて提案し、協議会構成員の了承を得た。

(5) その他、意見交換

(小原構成員)

令和9年4月からのテクノスクールの再編後の訓練科編成について説明。

(亀井構成員)

次回に向けて、職業訓練実施計画が量的課題にどう対応して、質的な課題にどう対応しているか説明の工夫をしていきたいと思っています。